

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年6月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	津山市	代表者名	津山市長 谷口圭三
担当者部署	総務部人事課	連絡先電話番号	0868-32-2044
担当者役職		担当者氏名	
住所	708-8501 岡山県津山市山北520		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	RPAの導入についての知見が得られ、今後の導入に当たっての課題やアドバイスを求めることができた。
アドバイザーへの要望事項	今後とも宜しくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年6月10日	9時00分	12時30分		210
3-2. 派遣場所	会場名	津山市役所本庁舎会議室		最寄駅	津山駅
	所在地	岡山県津山市山北520			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 情報政策課、行財政改革推進室、人事課各職員	人数 5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	導入可能な業務の洗い出し及び業務の棚卸しの実施。 費用対効果の検証手法の確率。 RPA導入経費の財源確保。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	本年度中に、事業の洗い出しを行い、トライアル事業の実施を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	RPAに対する知見のご教授 RPAの導入可能な事業の洗い出しの手法 今後の件ダウスケジュールの提示 (次回訪問までにEPA導入を見込む事業に関する業務フロー作成の指示)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	事業の洗い出しの手法について、検討を行うことが出来ている。 今後のRPA導入に向けてのスケジュール案が想定出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	事業の課題、問題点に記載している内容に記載している事項を次回以降、引き続き検討を行うこととしている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行う段階に至っていないから。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	RPAを導入することで職員の事務の軽減をはかり、働き方改革に資することも目指す。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

